

4 経営管理者、経理・財務ご担当者、決算書にご関心のある皆さま向け

—— 貸借対照表や損益計算書の読み方から損益分岐点分析の基本までを習得 ——

1日でマスターする決算書の読み方と経営分析の基礎講座

開催日：2020年3月18日(水) 10:00~17:00

会場：大阪銀行協会 別館3階(11号室)

講師：税理士・米国税理士
CFP® **高下 淳子** 氏

略歴：

外資系コンサルティング会社(監査法人)に勤務のち独立開業。現在、税務会計顧問業、経営コンサルティング業の他、金融機関、商工会議所、各種同業者団体、中小企業大学校、官公庁等の講演・セミナー講師としても活躍中。講演テーマは広く、経理担当者、後継経営者、経営幹部、営業担当者などを対象とした、明快かつ、わかりやすい実践的講義には定評がある。

<著書>「今までで一番やさしい法人税申告書のしくみとポイントがわかる本」「法人税と経理処理のしくみがわかる本」(日本実業出版社)「決算書を読みこなして経営分析ができる本」(日本実業出版社)など

◆特色

本セミナーでは、会社経営の舵取りに必要な不可欠な経営分析指標にポイントを絞って、その計算方法と意味を、わかりやすく解説いたします。決算書分析をとおして、自社と取引先の真の経営力を把握することができます。経営を改善するために、決算書を活用する方法や数字の見方のコツ、採算管理の基本などを、演習を交えながら、実践的に分かりやすく解説いたします。実務にすぐ活用できる財務知識を習得する講座として、ぜひ、ご活用ください。

◆カリキュラム

※録音・録画はご遠慮下さい。

1. 決算書を読みこなすためのコツ

- (1) 会社が作成する決算書とは
- (2) 決算書作成の流れは「5つの箱」で理解する

2. 貸借対照表を読みこなすポイント

- (1) 貸借対照表を読みこなすステップ
 - (2) 貸借対照表から見抜く短期的な資金繰り状況
 - (3) 貸借対照表から見抜く長期的な資金繰り状況
 - (4) 財務体質の健全性を表す経営指標
 - (5) 「運転資金」を理解して資金繰りを楽にする
- 【演習】貸借対照表を分析してみよう

3. 株主資本等変動計算書と注記表の役割

- (1) 株主資本等変動計算書の役割
- (2) すべての会社に求められる注記とは

4. 損益計算書から儲ける力を判断する

- (1) 損益計算書から読みとる情報とは
- (2) 損益計算書から見抜く商品力
- (3) 損益計算書から見る本業力
- (4) 損益計算書から見る実力

- (5) 最終の利益と法人税等の負担
 - (6) 総資産経常利益率で収益力を評価する
- 【演習】損益計算書を分析してみよう

5. 本当の儲けを捉えるための「採算管理」

- (1) 採算がとれる商売かどうかを判断する
 - (2) 限界利益という概念と採算計算
 - (3) 利益計画に活かす損益分岐点
 - (4) 損益分岐点の高さと企業力
 - (5) 損益分岐点図表を読みこなそう
 - (6) 儲かる商売を実践する3原則
- 【演習】採算計算書で利益を予測する

6. 「生産性」の高い会社であり続けるために

- (1) 企業が生み出す付加価値とは
- (2) 1人当たり付加価値額を高める方法
- (3) 給料の高さと付加価値生産性

—必ず電卓をお持ちください—

参加申込書

(個人情報の取り扱いに関して、私は貴社の「個人情報に関する利用目的」を確認、同意の上、申込みます。
URL <https://www.rri.co.jp/seminar/index.html>)

受講料：会員…24,200円 一般…31,900円

(参加者1名様、消費税等・テキスト代を含む)

3/18(水) 1日でマスターする決算書の読み方と経営分析の基礎講座

【FAX. 06-6258-8863 りそな総合研究所 行】

貴社名				区分	MS・会員・一般	会員番号	
受講票 送付先	〒			連絡 担当者	部署・役職		
					ふりがな		
					氏名		
業種(具体的に記入してください)				E-Mail			
TEL	()	FAX	()	取引店	支店		
参加者 ()内に ふりがなを ご記入くだ さい。	氏名	()	部署	役職			
	氏名	()	部署	役職			
	氏名	()	部署	役職			
当社使用欄	替 / 振(会・個)	入力日 /	発送日 /	受講料	円	作成日 /	発送日 / 同・別

会員の方：入会時にご選択いただきました「口座振替」あるいは「お振込み」のどちらかのお支払い方法になります。【お問い合わせ先】

一般の方：受講票とともに請求書をお送りいたします(原則)。セミナー開催前日までに振込みください。

*キャンセルはセミナー開催前営業日の17時までにご連絡ください。それ以降のキャンセルは、受講料全額をいただきます。なお、参加申込みが少数の場合や講師の病気等により、開催を中止させていただく場合があります。

06-6258-8806

研修担当 ㊟